

- ・本マニュアルは、トヨタ自動車(株)の「HVバッテリーユニット(ニッケル水素電池/リチウムイオン電池)」および「ヴィッツTIIS用バッテリーユニット(リチウムイオン電池)」の回収・リサイクルマニュアルです。これは、日本国内の自動車解体事業者様にご活用いただくために作成したものです。
- ・それぞれのバッテリーユニットの回収・リサイクル、取りはずし方法等については、本マニュアルの該当する項目をご覧ください。
- ・なお、車種によりバッテリーユニットの形状、取りはずし方法等が異なりますので、必ず車種・型式をご確認の上、対応する項目を熟読していただき、安全な作業を行ってください。

※本マニュアルの内容はトヨタのホームページ(<http://www.toyota.co.jp/>)にも掲載しています。

トップページ>CSR・環境・社会貢献>環境への取り組み>HVバッテリーリサイクルの順にアクセスし、ご覧になれます。

<ホームページ掲載箇所>

http://www.toyota.co.jp/jp/environment/recycle/law/recycle_fee/battery.html

※今後発売する車種についても、順次ホームページに掲載していく予定です。

(参考) TIIS : トヨタ インテリジェント アイドリング ストップ

[車両停止時に自動的にエンジンを停止、発進時に自動的に再始動させる、燃費向上と排出ガス低減を図るシステム]

■ハイブリッド車からHVバッテリーユニットを取りはずす際の注意点

1. ハイブリッド車には、通常の鉛電池と駆動用の高電圧電池(200V～288V)の2種類のバッテリーユニットが搭載されています。
使用済みとなったハイブリッド車を解体する場合には、この2種類のバッテリーユニットを取りはずしてください。
通常の鉛電池の取扱いは、通常の自動車用鉛電池と同様に取りはずし処理をしてください。
2. HVバッテリーユニットを取りはずす際の重機による解体の禁止
使用済みとなった車のHVバッテリーユニットは基本的に充電状態にあり、HVバッテリーユニット本体が破損した場合、スパークや発火、液漏れ事故の原因となるため、ニブラ(自動車解体機)や重機など、HVバッテリーユニット本体を破損させる恐れのある方法で取り出すことは絶対にしないでください。
3. HVバッテリーユニットの引取りをお断りする場合
HVバッテリーユニットは高電圧を伴う自動車部品のため、本マニュアルに従った適切な取扱いが必要です。本マニュアルに従わず、HVバッテリーユニットを分解したもの、あるいは重機等を使用して取りはずす等、不適切な取扱いによって損傷等を生じたHVバッテリーユニットは非常に危険な状態となり、回収時等の事故発生の原因にもなりますので通常の方法ではお引取りできません。あらかじめご注意ください。

※作業時は、“高電圧作業中であること”を周囲の人に注意喚起するため、「高電圧作業中 触るな!」の標示を行ってください。(P.10、P.215をコピーしてご活用ください。)